

|         |                              |
|---------|------------------------------|
| 氏 名     | 孫 云偉 (ソン ウンイ)                |
| 学 位     | 博士 (中国言語文化学)                 |
| 学位記番号   |                              |
| 学位授与年月日 |                              |
| 審査研究科   | 外国語学研究科                      |
| 論文題目    | 明治期北京官話教科書『官話指南』及び補助教科書の総合研究 |
| 論文審査委員  | (主査) 大東文化大学教授 丁 鋒            |
|         | (副査) 大東文化大学教授 大島 吉郎          |
|         | (副査) 大東文化大学教授 田中 寛           |
|         | (副査) 関西大学教授 内田 慶市            |

## 博士論文 審査報告

### 1. 本人の履歴、研究の経緯および研究業績

この部分に掲載されている内容については、論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨に関する箇所では無い為、加工がされておりますので、ご了承願います。

この部分に掲載されている内容については、論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨に関する箇所では無い為、加工がされておりますので、ご了承願います。

## 2. 論文の構成と内容

本論文は明治期中国語教育史の視野の下で、『官話指南』、『官話指南』の補助教科書と『官話指南』編纂者の関連北京官話教科書など諸文献に基づく教科書の語学研究、教科書の編纂研究、教科書の編纂者研究の3分野に論述を展開した。全文は序論、本論、終論からなり、本論は全三編計九章によって構成されている。

|   |    |
|---|----|
| 序論.....                                   | 1  |
| 0. 1 研究背景と研究対象.....                       | 1  |
| 0. 1. 1 研究背景.....                         | 1  |
| 0. 1. 2 研究対象.....                         | 4  |
| 0. 2 研究範囲と研究意義.....                       | 7  |
| 0. 2. 1 研究範囲.....                         | 7  |
| 0. 2. 2 研究意義.....                         | 9  |
| 0. 3 先行研究.....                            | 10 |
| 0. 4 研究方法.....                            | 14 |
| 0. 5 論文構成.....                            | 15 |
| 本 論                                       |    |
| 上編 『官話指南』の総合研究.....                       | 20 |
| 第一章 『官話指南』の語彙研究.....                      | 21 |
| 1. 1 先行研究の概要とその成果.....                    | 21 |
| 1. 2 語彙の再検討.....                          | 24 |
| 1. 2. 1 北京語辞典に収録されている語彙と収録されていない北京語語彙.... | 24 |
| 1. 2. 2 “兒化詞”.....                        | 33 |
| 1. 2. 3 文語の使用実態.....                      | 35 |
| 1. 3 語彙の北京語特質.....                        | 37 |
| 第二章 『官話指南』の文法研究.....                      | 40 |
| 2. 1 先行研究の概要とその成果.....                    | 40 |
| 2. 1. 1 太田辰夫氏の研究.....                     | 41 |
| 2. 1. 2 周一民氏の研究.....                      | 42 |
| 2. 1. 3 その他の研究.....                       | 45 |

|         |                                       |     |
|---------|---------------------------------------|-----|
| 2. 2    | 文法の再検討.....                           | 46  |
| 2. 2. 1 | 名詞、動詞、形容詞、量詞、代詞.....                  | 48  |
| 2. 2. 2 | 副詞、介詞、助詞、語気詞.....                     | 59  |
| 2. 3    | 文法の北京語特質.....                         | 69  |
| 第三章     | 『官話指南』の教科書研究（九江版との比較）.....            | 72  |
| 3. 1    | 先行研究の概念とその成果.....                     | 72  |
| 3. 1. 1 | 内田慶市氏、氷野善寛氏の研究.....                   | 72  |
| 3. 1. 2 | 張美蘭氏と李穎氏、齊燦氏の研究.....                  | 72  |
| 3. 2    | 九江版『官話指南』右文の版本研究.....                 | 75  |
| 3. 3    | 九江版『官話指南』南北官話の差異.....                 | 79  |
| 3. 3. 1 | 名詞、動詞、形容詞、代詞と連語構造.....                | 79  |
| 3. 3. 2 | 介詞、副詞、語気詞類.....                       | 82  |
| 3. 3. 3 | その他.....                              | 83  |
| 3. 4    | 『官話指南』（初版）に見える南方官話表現.....             | 84  |
| 3. 4. 1 | 南北共通の表現.....                          | 86  |
| 3. 4. 2 | 介詞、副詞類.....                           | 86  |
| 3. 4. 3 | その他.....                              | 89  |
| 3. 5    | 『官話指南』北京官話特徴の再認識.....                 | 90  |
| 上編結論    | .....                                 | 93  |
| 中編      | 『官話指南』補助教科書の総合研究.....                 | 95  |
| 第四章     | 学習補助教科書の翻訳研究.....                     | 96  |
| 4. 1    | 『官話指南』学習補助教科書の補助内容.....               | 96  |
| 4. 1. 1 | 『總譯』.....                             | 96  |
| 4. 1. 2 | 『自修書』.....                            | 97  |
| 4. 1. 3 | 『精解』.....                             | 100 |
| 4. 2    | 『總譯』『自修書』『精解』における翻訳の文体的特徴.....        | 101 |
| 4. 2. 1 | 『總譯』の文体的特徴.....                       | 109 |
| 4. 2. 2 | 『自修書』の文体.....                         | 111 |
| 4. 2. 3 | 『精解』の文体.....                          | 112 |
| 4. 3    | 三書の翻訳内容.....                          | 113 |
| 4. 3. 1 | 三書の言語使用.....                          | 113 |
| 4. 3. 2 | 『總譯』『自修書』における翻訳上の問題.....              | 115 |
| 4. 3. 3 | 『自修書』『精解』のすぐれた点.....                  | 117 |
| 4. 4    | 三書の翻訳における学習補助的価値.....                 | 118 |
| 4. 4. 1 | 中国語教科書編纂史上における『總譯』『自修書』『精解』の位置づけ..... | 118 |
| 4. 4. 2 | 学習補助価値.....                           | 122 |
| 第五章     | 学習補助教科書の注釈研究.....                     | 124 |
| 5. 1    | 『總譯』『自修書』『精解』三書の注釈.....               | 124 |
| 5. 1. 1 | 三書の内容における特徴.....                      | 119 |

|         |                                    |     |
|---------|------------------------------------|-----|
| 5. 1. 2 | 三書の注釈における特徴                        | 125 |
| 5. 2    | 三書の語彙注釈                            | 132 |
| 5. 2. 1 | 北京語語彙と北京語文法の注釈                     | 132 |
| 5. 2. 2 | 生活用語の特徴について                        | 134 |
| 5. 2. 3 | 役所用語の特徴について                        | 136 |
| 5. 3    | 三書注釈の学習補助価値                        | 137 |
| 5. 3. 1 | 中国語教科書編纂史上における『總譯』、『自修書』、『精解』の位置づけ | 137 |
| 5. 3. 2 | 注釈の学習補助価値                          | 138 |
| 第六章     | 学習補助教科書の音声研究                       | 140 |
| 6. 1    | 『官話指南』の「凡例」における北京語音声の説明            | 140 |
| 6. 2    | 『總譯』『自修書』『精解』三書の表記                 | 143 |
| 6. 3    | 『自修書』仮名表記の研究                       | 145 |
| 6. 3. 1 | 『自修書』における仮名表記の特徴                   | 145 |
| 6. 3. 2 | 明治時代における仮名表記の北京官話教科書               | 155 |
| 6. 4    | 『自修書』の「重念」の研究                      | 162 |
| 6. 5    | 『精解』のローマ字表記と『語言自邇集』                | 164 |
| 6. 5. 1 | 『語言自邇集』の音韻体系                       | 164 |
| 6. 5. 2 | 『官話指南精解』と『語言自邇集』との関係               | 166 |
| 6. 6    | 三書注音の学習補助価値                        | 171 |
| 6. 6. 1 | 注音の学習補助価値                          | 171 |
| 6. 6. 2 | 明治期中国語教育における学習補助教科書の位置付け           | 172 |
| 中編結論    |                                    | 174 |
| 下編      | 『官話指南』の著者及び鄭永邦の編纂によるその他北京官話教科書の研究  | 176 |
| 第七章     | 『官話指南』の著者と編纂過程の研究                  | 177 |
| 7. 1    | 呉啓太の再研究                            | 177 |
| 7. 1. 1 | 呉啓太の履歴書                            | 178 |
| 7. 1. 2 | 外務省漢語学所での学習                        | 179 |
| 7. 1. 3 | ブラッセル大学での学習                        | 181 |
| 7. 2    | 鄭永邦の再研究                            | 181 |
| 7. 2. 1 | 東京外国語学校の入学時期                       | 183 |
| 7. 2. 2 | 鄭永邦の履歴書                            | 183 |
| 7. 2. 3 | 任職受勲                               | 189 |
| 7. 2. 4 | 在外勤務期間中における日本帰国時の各地への出張記録          | 190 |
| 7. 2. 5 | 中国での中国語教育の実践                       | 191 |
| 7. 3    | 呉啓太・鄭永邦比較年表                        | 192 |
| 7. 4    | 初版『官話指南』の編纂過程                      | 200 |
| 7. 4. 1 | 『官話指南』の体裁                          | 200 |
| 7. 4. 2 | 「應對須知」                             | 202 |
| 7. 4. 3 | 「官商吐屬」                             | 203 |

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| 7. 4. 4 「使令通話」                  | 203 |
| 7. 4. 5 「官話問答」                  | 204 |
| 7. 5 改訂版『官話指南』と金國璞              | 205 |
| 7. 6 『官話指南』の著者と編纂過程             | 206 |
| 第八章 鄭永邦『北京發音反切表』の研究             | 208 |
| 8. 1 『反切表』の構成                   | 208 |
| 8. 1. 1 『反切表』の内容                | 208 |
| 8. 1. 2 声母、韻母                   | 208 |
| 8. 1. 3 特殊な音節字                  | 212 |
| 8. 1. 4 「声介合母」                  | 212 |
| 8. 1. 5 「發音心得」                  | 213 |
| 8. 2 『反切表』の注音                   | 215 |
| 8. 2. 1 『語言自邇集』との関係             | 215 |
| 8. 2. 2 『反切表』の反切注音              | 216 |
| 8. 2. 3 『反切表』の仮名表記              | 217 |
| 8. 3 鄭永邦による北京語音声研究の獨創性          | 217 |
| 第九章 鄭永邦による北京語多言語対照教科書の研究        | 219 |
| 9. 1 『日漢英語言合璧』と『日清英露四語合璧』       | 219 |
| 9. 1. 1 『日漢英語言合璧』               | 219 |
| 9. 1. 2 『日清英露四語合璧』              | 220 |
| 9. 1. 3 両書の先行研究                 | 222 |
| 9. 2 二書の北京語表現                   | 222 |
| 9. 3 二書の北京語仮名表記                 | 224 |
| 9. 3. 1 『語言合璧』と『四語合璧』の發音表記      | 224 |
| 9. 3. 2 声母と韻母                   | 226 |
| 9. 3. 3 音節の対応性と特殊な仮名表記          | 227 |
| 9. 3. 4 鄭永邦による仮名表記と『亜細亞言語集』との関係 | 231 |
| 9. 4 『語言合璧』『四語合璧』の語彙と音声の特徴      | 232 |
| 下編結論                            | 233 |
| 終論                              | 235 |
| 1 本研究の成果                        | 235 |
| 2 今後の課題                         | 241 |
| 参考文献                            | 243 |
| 既発表論文と各章の関係                     | 250 |
| 附録 『總譯』『自修書』『精解』三書注釈総表          | 251 |

序論は研究の背景、対象、範囲、意義、方法と先行研究、論文構成を概観する。本論の上編は『官話指南』の総合研究であり、語彙研究、文法研究、教科書研究の三章を配置し、『官話指南』に反映した清末北京語を徹底した語学考察を行うとともに九江版『官話指南』の分析に

よる南北官話の言語層の解明を目指した。中編は『官話指南』補助教科書の総合研究であり、『官話指南総訳』（1905）、『官話指南自修書』（1924－1926）、『官話指南精解』（1939）に対して翻訳、注釈、音声の側面から、明治・大正・昭和時代における補助教科書の変遷・進化を多角度から探究した。下編は『官話指南』の著者及び鄭氏が編纂した他の北京官話教科書の考察を設定し、両著者の生涯研究、鄭氏『北京発音反切表』の研究、鄭氏『日漢英語言合璧』『日清英露四語合璧』の研究による三章の配置とし、新しい史料による『官話指南』著者の史実を更新し、著者の一人である鄭氏が独自に行った北京語研究の全容解明を試みた。本論九章の中、第一、第二、第七の3章は先行研究に基づいた再検討や再研究となるが、新しい発見や結論を導入している。第三、第四、第五、第六、第八、第九の6章は殆ど最新の研究結果となっている。終論は研究成果と今後の課題を纏める。

### 3. 研究の成果および評価

本研究における成果として以下の三点を挙げる事ができる。

(1) 清末北京語の研究成果。『官話指南』に反映している清末北京語の資料は今まで学界で重要視されてきたが、本論文は先行研究に基づいた語彙・文法に対する全面且つ綿密な総括研究を行い、多くのデータを駆使して北京語の強い影響を受けた特徴を明らかにした。また鄭氏『北京発音反切表』（1904）の関連研究で清末北京語の音声を系統的に叙述・解明している。本論文は清末北京語の語彙・文法・音声の総合利用価値を高めた。

(2) 南北官話の研究成果。本論第三章に行っている九江版『官話指南』と初版『官話指南』の比較研究は背景に中国語の「官話」（共通語）に南方官話と北方官話の差異を反映する。本論文の差異分析に審査委員から「とりわけ、南北官話の具体的な差異が本論文でかなり明らかにされたことは高く評価される。」と評価した。

(3) 補助教科書の研究成果。明治期に発足した近代中国語教育に補助教科書の編集・出版・学習者利用は一つ重要な特徴（本論第四章表2『明治時代から戦前までの中国語教科書とその学習補助教科書総表』参照）であるが、今まで殆ど研究されていない。本論文は初めてこの分野に挑戦し、三章配置で総合研究を試み、当分野の学術発展に意義ある成果を示した。

### 4. 結論

以上の審査内容、評価に基づき、本論文を審査対象とする学位論文審査委員会は、全員一致をもって、本論文は博士（中国言語文化学）の学位を授与するに値するものと判断し、ここに報告する。

以 上